



RI第2510地区第8グループ 2022～2023年度インターシティ・ミーティング

国際ロータリー第2510地区

第8グループガバナー補佐

高村 洋子 (様似RC)

如月には珍しいほどに、暖かな気温と穏やかな日に恵まれた去る2月19日(日)午後1時、様似町立図書館「視聴覚ホール」にて開催されました。

殆どのグループも同じである様に、我がグループもパンデミック渦中で2年間IMは開催されていない。今期も不安を抱えての実行委員会スタートでしたから、改めて前山田AGのご苦勞を察した次第でした。

IMのテーマ「私たちが目指す“未来”とロータリー！・・・イマジン！」

第8グループ地域内の若き経営者(事業人)と共に語る「未来」と「ロータリー」！

今現在ロータリアンではない経営者の“今”のチャレンジと、思い描く「未来」私たちロータリアンがロータリーの理念をもとに目指す「未来」を、異なる視点で論者から意見を聞き、テーマについて探求する。

このIMを通して、参加されたみなさんに“これから目指すクラブの未来”を考えるきっかけとヒントにして頂けたら幸いと願い、企画致しました。



重点

*話題提供として「基調講演」..私の歩んできた道と、歩もうとする道
～新しい農業経営を目指して～イマジン！

浦河町「菅農園 代表 菅正輝氏

*トーキングフォーラム

ファシリテーター 地区RLI委員長 平川香織氏(札幌手稲RC)

参加者 地区RYLA委員長 齊藤朋博氏(札幌幌南RC)

増強対策小委員会 赤木道子氏(札幌北RC)

三石会長エレクト 橋本勝司氏(三石RC)

様似町「養豚事業人」西川雄喜氏(駒谷農場)

話題提供者 菅 正輝氏(菅農園)

*タイTH検証ツアー 報告

地区国際奉仕・VT T委員長 富岡 豊(静内RC)

*ポリオ(END POLIO NOW)・・・募金活動

基調講演から

農家の4代目候補として三人姉弟の末っ子として生誕。スポーツ推薦を受け大学卒業後もスポーツ関係に勤務するが父親の事故負傷がきっかけで就農決意。10年後農園の事業継承後、次々と会社を設立～ベリーベリークレイジー(札幌ススキノ)等

事業継承と言う「強み」をさらなる強化、「大規模の弱み」を「強み」に生産のみならず、販売、飲食加工と新しい「農業経営」を目指している。魅力が無ければ絶えてしまう！だから農業経営の入り口は何処からでも良い。

俯瞰的視点から、消費環境への対応や長期化するコスト上昇へのリスクヘッジ、競争激化も踏まえて「未来」の農業者、担い手への魅力(楽しい、自分らしく、儲かる、顔の見える)を発信する為に催事にはなるべく駆けつける。

市場の言葉「売れる良いイチゴを作れ」

オヤジの背中「プライドを捨て、年代を問わずわからない事に教えを請う姿」 自分も子供に見せられる「背中を」。



ポリオ撲滅「END POLIO NOW」！

IMの「ウエルカムボード」として。

私の個人的な友人「飯田比呂美さん」はポリオ(小児まひ)患者です。

「べてるの家」に関わった頃に出会った比呂美ちゃん。勿論、お互い顔も知らない中で「絵手紙文通」が始まりました。もう20年来の文通です。

現在は、私が作った野菜をお届けしているのです(顔見知り)。

ポリオに負けず、懸命に一日一日を大切に暮らし趣味の絵手紙に、腕を磨いて来た「作品」をご披露させて頂きました。そして、その前で募金活動の募金箱を設置致しました。皆様の熱い想いに感謝申し上げます。ありがとうございました。



トーキングフォーラムから

今期目標「会員増強」！第8グループ全てのクラブの最重要課題でもあります。過疎地における法人の吸収合併、高齢化による生産人口減少、学業の為学生の都市部流出と理由をつければいくらかでもある中、決してあきらめるわけではありません。IMをチャンスと捉えて一同に会し今一度「イマジン！」

会員と会員外の若き経営者が人と人として(気前よく情報を分かち合う)友達になろう。



第2510地区の各委員長には大変お世話になりました。前日には次年度松浦ガバナー年度の委員長会議がお有りだったとの事。

早朝より190キロの道のりを駆けつけて頂きました。ファシリテーターの平川委員長のリーダーシップにより午前中から「打ち合わせ」、昼食後のスタート。

各ロータリーアンから若き事業人にロータリーの良い所をわかりやすく紹介～
若き事業人から～一歩外から見た“ロータリークラブ”！

「ロータリーを知っていましたか？」

- *よく分からない？が父親が長崎県出身であり、高校生の時RCの奨学金で豪州に学んだ事を聞かされた。
- *駅前バス等が廻る“ロータリー”なのかなぁ？程度なら。(爆笑)
- *各クラブは素晴らしい奉仕活動しているが、知られていないのは広報活動が不足している。(ロータリアンはひけらかさなかった)
- *世代（Y世代、Z世代）差があるかと思う。自己主義世代では奉仕という言葉自体が馴染まない。
- *まずは知ってもらう事が「増強」に繋がる。発信が大事。
- *女性増強“若者(誘う自分より一歳でも下であれば若者)”小委員会では、問題の洗い出しをしている。
- *地区には現在188名の女性会員が、リモート会議をしてみたい。
- *RYLA委員会では青少年養成プログラムに力を入れている。ロータリアンがそのカウンセラーを引き受ける事で自分の成長を実感する。
- *ロータリーのLOGOが「かっこいい」！マークのTシャツとかグッズ等作っては？
- *ロータリーに入会すると「直ぐ120万人(世界のロータリアン数)の友達が出来る。
- *経営者は兎角、孤独なもの。RCは上下無く平たい関係で助け合える。
- *他所のクラブを覗く(メイキャップ)=知らない世界の「扉を開ける」そして自分のクラブへフィードバックする事。
- *RCの空気感、イメージ等距離感を縮めるよう「体験例会」の企画。

平川ファシリテーターから

結論を出すものではありませんが、RCは高い志、使命感、奉仕の心、国際親善、職業を通して貢献する、人としての倫理、価値ある人道的奉仕団体である。

「思い描く未来とRCの未来。目指す！ロータリークラブ未来へのきっかけ！」

最後に「ポツンと一軒家」の 西川雄喜氏曰く

「僕はキリンを飼いたい！」と。

～exciting(ワクワクする)町になりそう～私の個人的感想～です。



IMを開催出来なかった山形AG(えりもRC)と山田 AG(静内RC)へ“イマジン”！

そして私 AG(様似RC)と三人の思いから～

二人の農業経営者の「絶品」を参加者の皆様にお持ち帰り頂きました。

～さて、ご感想はいかに～